

2026

令和8年度版

研修講座案内

～磨かん共に～



長野県総合教育センター
Nagano Prefectural Education Center

住所 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢6342-4
電話 0263-53-8800 (代表)
ファクシムル 0263-51-1290 (代表)
ホームページ <https://www.edu-ctr.pref.nagano.lg.jp>
メールアドレス sogokyoiku@pref.nagano.lg.jp

【総務部】 0263-53-8800
【企画調査部】 0263-53-8802
【教科教育部】 0263-53-8803
【教科教育部(学校体育担当)】 0263-51-5400
【教職教育部】 0263-53-8804
【生徒指導・特別支援教育部】 0263-53-8833
53-8805
【情報・産業教育部】 0263-53-8806
53-8807

令和8年度 総合教育センター事業の方向

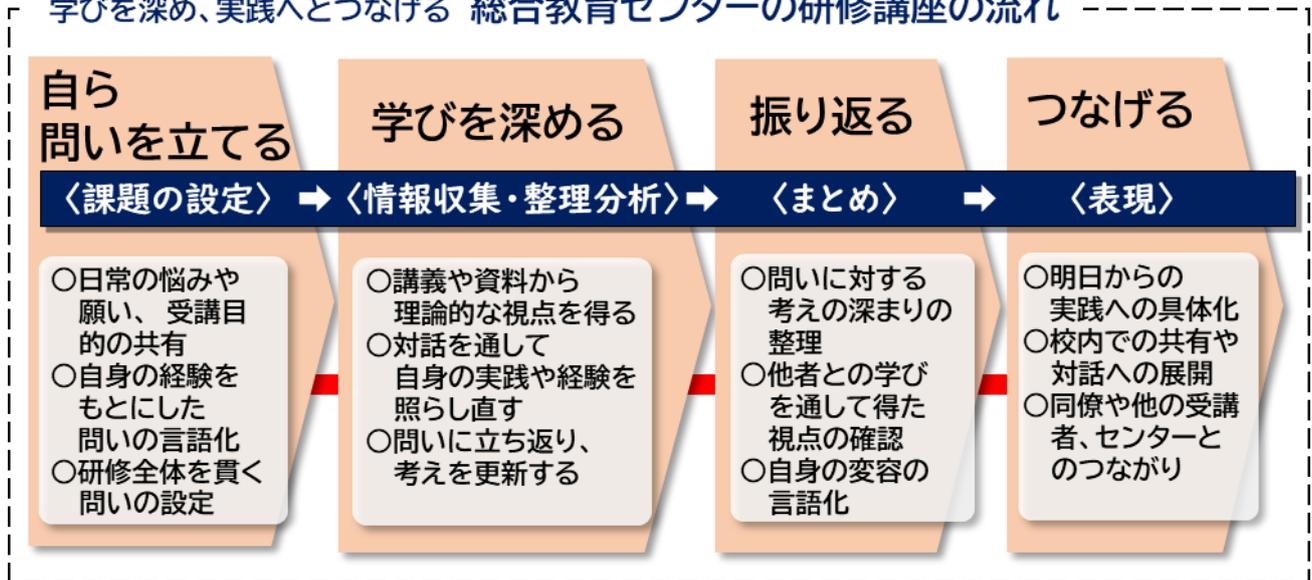
〔総合教育センター事業目標〕

対話の楽しさや気づきを起点に、 学びを深め、実践へつなげる研修

重点1 対話を通して学びの深まりを実感できる探究的な研修の充実

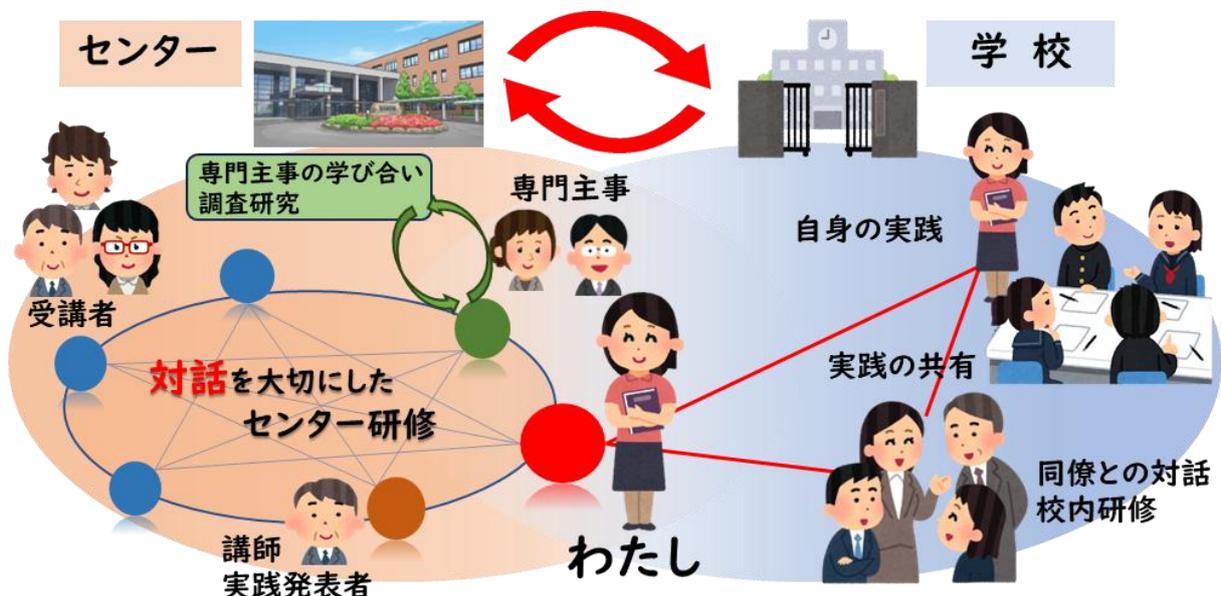
自らの願いや問いをもとに、他者との対話を通して学びを深め、実践と理論を行き来しながら、自分の教育観や授業観を見つめ直す探究的な研修を目指します。研修デザインやファシリテーションを工夫し、先生方の学びがより深まり、自身の省察や新たな気づきへとつながるようにします。

学びを深め、実践へとつなげる 総合教育センターの研修講座の流れ



重点2 共に探究する「学び合いのコミュニティ」の創出

先生方が安心して語り合い、互いの経験や考えを通して学び合うコミュニティの創出を目指します。また、先生一人ひとりの中での学び、学校現場での先生同士の学び合い、学校とセンターの往還、そしてセンター自身の学びが、互いに響き合っていくよう目指していきます。



受講の手引

講座内容・連絡

- (1) 各研修講座の「内容、連絡等」を必ず事前にお読みください。
- (2) 当センターのホームページに、追加連絡や講師の変更等の情報を掲載する場合があります。
※ 当センターのホームページに掲載される追加連絡は「研修講座の追加連絡はこちらから」のバナー（右図）からご確認ください。
※ 申込み時に入力していただいた園代表アドレスへ連絡事項を送信する場合があります。
- (3) 受付終了時刻までに入室してください。それ以降は遅刻となります。
※ 研修講座の基本日程は p. 13 又は裏表紙を参照してください。
- (4) 欠席、遅刻、早退する場合は、必ず管理職を通じて申請をしてください（p. 14 参照）。
- (5) 体調がすぐれない場合には、無理をせず早めに管理職に申し出てください。



会場・受付

- (1) 各研修講座の会場は、当日、当センター入口の電子掲示板に表示されています。
- (2) 受付は電子掲示板に表示されている会場で行います。
- (3) 当センター以外の会場で行う研修講座については、詳細な通知が当センターのホームページに掲載されますので、そちらも確認してください。



磨かん共に

平成8年に総合教育センターが設立された際、センター設置の理念を込めて石碑に刻まれ、玄関前に設置されました。

学校教育に携わる者、生涯教育に携わる者、幅広く教育に関心をもつ者、いずれも教育への熱意と探究心をもつ者が共に集い研鑽する場でありたいとの願いが込められています。総合教育センター、生涯学習推進センターへお越しの際は、是非足を止めてご覧ください。

はじめに

長野県教育委員会では、平成25年11月に「長野県教員研修体系」を策定し、長野県の教員に求められる5つの資質能力を示しました。そして、平成28年11月教育公務員特例法の一部改正を受けて「長野県教員育成指標」を策定しました。この育成指標は、教員が各ステージにおいて担う役割を明らかにするとともに、自らの職責や経験、適性に応じて効果的、継続的に学び続けることができるよう目安を示したものです。

これを受け、総合教育センターでは、キャリアステージに応じて総合的な教師力の向上を目指す指定研修と学校・園の学校力の向上および教師力の向上を目指す希望研修を提供します。

また、平成29年3月、平成30年3月に公示された学習指導要領を受けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点による授業改善をすすめる研修を提供し、受講内容の帰校後の共有・活用にいたるまでをサポートします。

I 指定研修

ここでは、総合教育センターで行う研修のみ説明しています。他の研修については、令和8年度版「研修の手引」を確認してください。「研修の手引」「様式」は、総合教育センターのホームページからダウンロードできます。
(トップページ>研修>指定研修>初任者研修、キャリアアップ研修Ⅱ)

指定研修に関するご質問は、以下の担当課にお問い合わせください。

- ・幼稚園 → 学びの改革支援課
- ・幼保連携型認定こども園 → こども・家庭課

1 初任者研修

令和8年度に採用された教員を対象とした悉皆の研修です。教育公務員としての自覚と使命感を養い、教育活動に必要な基礎的・基本的な知識及び技能と実践的指導力を身に付けるとともに、総合的な教師力の向上に繋がる、幅広い知見を得ることを目的とした研修を行います。

(1) 全県セッションⅠ

申込みは不要です。詳細は4月に郵送される実施要項を確認してください。

| 初任者研修 幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 | | 総合教育センター研修 | |
|----------------------------------|------------------|---------------------|---|
| 講座番号・講座名 | | 実施日 | 内容、連絡等 |
| 1-1-01-01 全県セッションⅠ | | 4月14日(火) | 教員の使命や任務を確認し、学級・授業づくりの基礎を学びます。 講話「長野県の教師として期待すること」 県教育委員会教育長 講義「コンプライアンスとサービスの基本」 義務教育課 講義「けがの予防について」 保健厚生課 講義「学級づくり授業づくりの基礎・基本Ⅰ」 学びの改革支援課 協議「学級づくり授業づくりの基礎・基本Ⅱ」 教育事務所 初任研ガイダンス 教育事務所 |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | |
| | | 学習指導 | 生徒指導 |
| | | ③ | ⑤ |
| | | ⑦ | ⑧ |
| | | ⑪ | ⑭ |
| | | 基礎形成 | 伸長 |
| | | 充実 | 深化・貢献/管理職 |

■持ち物 初任者研修の手引（センターHPからダウンロード）、A4クリップボード

(2) 園外研修として選択できる研修

下の表の講座を、園外研修として選択することができます。受講する場合は、p.10の「Ⅲ受講申込みの手順」に従って、総合教育センターへ電子申請で申し込んでください（締切4月24日(金)）。

| 講座番号 | 講座名 | 実施日 | 掲載ページ |
|-----------|------------------------------------|----------|-------|
| 3-1-15-21 | 幼年教育 子供の遊びと学びを支える ～実践を語り合い、支援を考える～ | 6月15日(月) | 5 |
| 3-1-20-52 | 脳の発達と幼児期の運動支援 ～子どもの教育に必要なこと～ | 10月6日(火) | 7 |

(3) 欠席及び遅刻早退について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修を欠席する場合は、園長は、電話にて教職教育部長（0263 - 53 - 8804）に連絡をした後、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください（p.14参照）。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル（様式第60号）を出力し、所属園で保管してください。関係市町村等に提出する書類については、「研修の手引」を確認してください。

なお、代替研修については、後日担当者から連絡します。

2 キャリアアップ研修Ⅱ

採用から10年目以上の教員を対象とした悉皆の研修です。これまでの教員としての実践を振り返り、意識の改革、視野の拡大及び専門性の向上をめざし、中堅教員として必要とされる資質の向上を図ります。

(1) 全県セッションⅠ

申込みは不要です。詳細は「研修の手引」を確認してください。

| キャリアアップ研修Ⅱ 幼稚園等・小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校 共通必修研修 | | | | | |
|--|------------------|---------------------|----------|---|-----------------------|
| 講座番号・講座名 | | | 実施日 | 内容、連絡等 | |
| 1-3-01-01 全県セッションⅠA | | | 5月14日(木) | 講義、グループ討議を通してキャリアアップ研修Ⅱの意義と内容や本県の教育課題を理解し、自己の研修課題を考えます。 講義・演習「非違行為防止とリスクマネジメント」 講師 京都教育大学 教授 榎原 禎宏 講義「外国にルーツを持つ子どもたちへの教育における課題と展望」 講師 大阪大学 准教授 櫻井 千穂 演習「これまでの10年間、これからの10年間」 教職教育部 ■持ち物及び詳細は「研修の手引」を確認してください。 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | |
| | ③ ④ ⑤ ⑥ | 学習指導 | | | 生徒指導 現代的な課題への対応 ⑩ ⑪ ⑬ |
| 基礎形成 | | 伸長 | 充実 | 深化・貢献/管理職 | |

(2) 欠席及び遅刻早退について

対象者が健康上のやむを得ない事由等で研修を欠席する場合は、園長は、電話にて教職教育部長（0263 - 53 - 8804）に連絡をした後、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください（p.14 参照）。また、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDF ファイル（様式第60号）を出力し、所属園で保管する他、関係市町村等に提出してください。

なお、代替研修については、後日担当者から連絡します。

(3) 猶予について

猶予に関する詳細は「研修の手引」を確認してください。

Ⅱ 希望研修

教科指導や生徒指導、学校運営に関わる知識・技能及び資質の向上又は課題の解決に向けて、指導の基礎・基本から専門性の深化まで各自のキャリアステージに合わせた研修講座を選択することができます。

(1) 概要

| 研修分野 | 対象者 |
|---|---|
| 学校力の向上を目指す研修、 教科等教育研修、学校体育研修、 生徒指導研修、特別支援教育研修 | 受講を希望する教員（育休中を含む）のうち、所属長が推薦し、センター所長がその受講を決定した者。 ・育休中の教員が受講を希望する場合は、申込み前に所属長より、企画調査部（0263 - 53 - 8802）へお問い合わせください。 ・療休中の教員の受講は、原則としてできません。 |

(2) 希望研修受付に係る日程

- 4月13日（月）希望研修申込受付開始
- 4月24日（金）希望研修申込受付終了
- 5月18日（月）「学校別受講決定者通知書」発送
- 5月20日（水）追加募集開始
- 6月4日（木）希望研修スタート

(3) 受講費用について

講座受講料（資料代等）として1人1講座1,000円をいただきます。後日、園長あてに納付書を送付します。また、研修講座によっては材料費等が別途必要になる場合があります。詳細は次ページからの希望研修対象講座一覧表で確認してください。

(4) 申込みについて

- ① 次ページからの希望研修対象講座一覧表の中から選んでください。受講する場合は、p.10の「Ⅲ受講申込みの手順」に従って、総合教育センターへ電子申請で申し込んでください。
- ② 希望研修は、1人3講座まで申し込むことができます。複数の研修講座を申し込む場合は、実施日が重複しないよう注意してください。また、他のスケジュールと重複することがないように、所属園の年間行事予定、指定研修日など十分確認してください。
- ③ 受講決定は、5月18日（月）に「学校別受講決定者通知書」を園長あてに発送しますので確認してください。受講希望者個人への通知は行いませんので、各園にて受講希望者への周知をお願いします。

(5) 追加募集する研修講座について

- ① 申込み締切以降、追加募集する研修講座がある場合は、引き続き申込みを受付けます。追加募集する研修講座の一覧を、5月20日（水）に当センターのホームページへ掲載します。
- ② 追加募集講座への申込みは、(4)の①と同様に行ってください。
- ③ 申込みは5月20日（水）から始まります。各講座の実施日の10日前までに申し込んでください（実施日の10日前が土日・祝日である場合は、申込み締切日を直前の平日に繰り上げます）。
- ④ 申込状況により、各講座の締切日より前に募集を終了する場合があります。

(6) 欠席、遅刻・早退について

① 欠席について

対象者が園行事や健康上のやむを得ない事由等により研修を欠席する場合、園長は、電話にて企画調査部（0263 - 53 - 8802）に連絡をした後、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください（p.14参照）。その際、電子申請送信直後の画面から出力可能なPDFファイル（様式第71号）を出力し、所属園で保管してください。欠席する教職員に代わり他の教職員が受講する場合、代理受講者についても申請してくださ

い。欠席しなければならないことが分かった時点で、できるだけ早く、当センターへの連絡、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください。

なお、材料費を必要とする研修講座では、止むを得ない事由等で欠席した場合も材料費を徴収させていただきます。所属園の園長を通じて連絡を取らせていただきますのでご承知おきください。

② 遅刻・早退について

園長は、電話にて企画調査部（0263 - 53 - 8802）に連絡をした後、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください（p.14 参照）。その際、電子申請送信直後の画面から出力可能な PDF ファイル（様式第 71 号）を出力し、所属園で保管してください。

なお、体調不良等で、当日早退する場合は、当センターより園長へ電話にて連絡します。その場合は後日、欠席・遅刻・早退に係る電子申請を行ってください。

| 総合教育センター研修講座 幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等対象講座 | | | | | 実施日 | | | | 内容、連絡等 | |
|---|------------------|---------------------|-------|---|---------------------------|------|------------|----|--|--|
| 講座番号・講座名 | | | | | | | | | | |
| 3-1-01-01 小学校国語科の授業づくり 基礎 ～言語活動を通して育成する資質・能力～ | | | | | 6月25日(木) | | | | 学習指導要領や子供の姿を基に、国語科における教材研究や単元・授業づくりについて考えます。 講義・演習1「ねらいを明確にした『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』の指導について」 講義・演習2「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」 実践発表「魅力ある言語活動を土台とした単元づくり」(仮) | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小一義一特一 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 担当学年の教科書、学習指導要領解説、授業の板書写真(A4判 同じもの5部) |
| 3-1-06-21 生活科 子供の学びを捉える ～ただ一人を追いつけ、児童理解の力を高める～ | | | | | 10月2日(金) 松本市立明善小学校 | | | | 松本市立明善小学校で生活科の授業を参観します。1人の子供の活動を追い、その子供の学びを捉えます。自分がどのように子供の学びを捉えているか語り合い、学びを支える教師の支援を考えます。授業参観「1人の子供を追い、学びを捉える」 協議「子供の事実から、子供の学びを考え合う」 講義「生活科における子供理解と教師の支援」 講師 福島大学人間発達文化学類附属学校臨床支援センター 教授 宗形 潤子 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | | |
| | | ⑧ | | ⑭ | | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義一特一 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |
| 3-1-07-22 子供から音楽を引き出す授業づくり ～鑑賞や音楽づくりの授業を中心に～ | | | | | 8月20日(木) | | | | 子供たちから音楽を引き出し、見方・考え方を働かせた学びを支えるために、どのように授業の中に体を動かす活動を取り入れればよいか、模擬授業形式で体験的に学びます。また、それらを取り入れた鑑賞や音楽づくり・創作の授業を構想し、今後の実践につなげていくことができますようにします。 講義・演習「子どもから音楽を引き出す授業づくり」 演習「体を動かす活動を取り入れた鑑賞や創作の授業づくり」 講師 国立音楽大学附属小学校 副校長 高倉 弘光 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑭ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特一 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 なし ■動きやすい服装で参加してください。 |
| 3-1-14-22 図書館教育 ～学校図書館を利活用した探究的な学びの創造～ | | | | | 11月13日(金) 県立長野図書館 | | | | 県立長野図書館を会場に、学校図書館を利活用した探究的な学びについて考えます。 講義・演習「探究的な学びにおける調べ学習の意義と進め方」 県立長野図書館の利用案内 講義・演習「学校図書館を利活用した探究的な学びの創造」 講師 放送大学 客員准教授 塩谷 京子 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑭ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特一 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |
| 初任者園外研修対象 3-1-15-21 幼年教育 子供の遊びと学びを支える ～実践を語り合い、支援を考える～ | | | | | 6月15日(月) | | | | 校種を越えて語り合い、自身の実践を省察し、学び合います。実践資料から、幼年期の子供の遊びと学びを支える支援について考え、今後の実践の方向を見いだしましょう。 協議「実践を振り返り、自身が大切にしていることを捉える」 演習「実践資料から、幼年期に大切にしたいことを考える」 講師 福井大学大学院 福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学 連合教職開発研究科(連合教職大学院) 教授 岸野 麻衣 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | | |
| | | ⑥ | ⑧ | ⑨ | ⑭ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 子供の遊びや学びの様子分かる資料(1部) |
| 3-1-20-02 プロセスに焦点!! グループワークトレーニング ～より良い人間関係の構築に向けて～ | | | | | 6月25日(木) 塩尻市 ユメックスアリーナ | | | | グループワークの体験をふりかえり、そこでの自分の姿に気づくことを通じて、人間関係構築のための指導者として必要な視点や支援方法を磨くことができます。また、講座で行われる豊富なワークは、学級経営、授業づくり、また、スポーツ活動の場面で活用することができます。学校の先生、地域のスポーツ指導者の方にお勧めの講座です。 講師 松本大学名誉教授 日本GWT協会上級アドバイザー 犬飼 己紀子 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | | |
| | | ③ | ⑧ | ⑨ | ⑬ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |

| 総合教育センター研修講座 幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等対象講座 | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|--|------|-----------------------------------|------------|---|---------|----------------------------|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-20-03 スポーツ場面のアンガーマネジメント ～子どもと大人を救うウェルビーイング～ | | | | | 6月30日(火) | | 怒りの感情と適切に付き合いコントロールすることは、スポーツ場面でのハラスメント防止のみならず、個人のストレス低減や職場での人間関係改善などにもつながります。怒りの基本的な知識を学び、怒りのタイプを自己分析することにより、怒りを建設的に抑えるスキルを習得します。部活動や地域のスポーツ指導者に限らず、学校の先生や管理職にも役立つ初開催の講座です。 講師 メンタルトレーナー 加藤 史子 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | 基礎形成 | ② ③ ④ ⑤ | 幼小中義高特専 |
| 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 | | | | | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 なし |
| 3-1-20-04 運動の基本動作を身につけるプログラム ～ドイツ生まれのバルシューレ～ | | | | | 7月2日(木) 塩尻市 ユメックスアリーナ | | ボールを使った様々な運動を通じて子供の成長を促し、自然と笑顔があふれる活動について学ばせていただきます。幼少期の子供から高校生期まで幅広く指導するスポーツ指導者や、子供の発達段階の特性に応じた運動への動機づけを学びたい指導者にお勧めの講座です。 講義「バルシューレの背景と指導理念」 実習「バルシューレ&ミニバルシューレ実技体験」 講師 株式会社クラスティブスポーツ 執行役員 福士 唯男 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ ⑧ ⑩ | 幼小中義高特専 |
| 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 | | | | | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |
| 3-1-20-06 誰もが楽しめるインクルーシブ体育 ～アダプテッド・スポーツから広がる体育授業～ | | | | | 8月5日(水) 塩尻市 ユメックスアリーナ | | 児童生徒一人ひとりの発達状況や身体条件に合わせて行う「アダプテッド・スポーツ」の考え方や、運動やスポーツの楽しみ方を広げる指導の視点を学ぶことができます。誰もが安心して学ぶことのできる合理的配慮に基づいた体育授業について考えます。 講義「アダプテッド・スポーツと学校教育の接点」 実習「アダプテッド・スポーツの体験と理論及び実践」 講師 東海大学 教授 内田 匡輔 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ ⑧ ⑨ ⑬ | 幼小中義高特専 |
| 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 | | | | | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |
| 3-1-20-09 実践！障がいのある子どもの発達を育む運動遊び ～誰もが楽しめるムーブメント教育・療法～ | | | | | 9月10日(木) 塩尻市 ユメックスアリーナ | | 障がいに応じた運動や遊びと指導の工夫について、講義と実習を通して学ぶことができます。子どもたちの「楽しい」「やりたい」を引き出し、運動を通して調和のとれた発達を促すヒントがたくさん詰まった講座です。特に、特別支援学級や特別支援学校の先生方の受講をお勧めします。 講師 上田短期大学 准教授 大塚 美奈子 長野県障がい者福祉センター スポーツ課 課長 太田 澄人 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ ⑧ ⑨ ⑬ | 幼小中義高特専 |
| 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 | | | | | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |
| 3-1-20-10 子どものからだづくり 心づくり ～現代の子どもの育ちについて～ | | | | | 9月11日(金) 塩尻市 ユメックスアリーナ | | 先生方が日々感じている「実感」や「事実」から「子どものからだづくり 心づくり」や「育ち」について考える講座です。子どもたちの健やかな成長を促すためのヒント（「光・暗闇・外遊び」や「環境」）について学びます。幼保・小・中・高の保健体育・養護教諭の先生方には、ぜひ受講していただきたい講座です。 講師 日本体育大学 教授 子どものからだ研究所 所長 野井 真吾 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | 基礎形成 | ③ ④ ⑩ ⑬ | 幼小中義高特専 |
| 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 | | | | | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 なし |
| 3-1-20-13 遊びで育つ心と体！ 運動遊び実践講座 ～幼児・児童・生徒の笑顔を引き出そう～ | | | | | 10月9日(金) 長野短期大学 | | 幼児・児童期の子どものための遊びの要素を取り入れた楽しい運動と運動遊びのアイデアを学べる講座です。運動好きの子どもを育て、心身の豊かな成長を促す運動遊びのアイデアを、実習からたくさん学ぶことができます。小中高の体づくり運動のヒントを得たい方、体育を専門としない方や運動指導に自信をつけたい方にお勧めの講座です。 講師 長野短期大学 教授 白金 俊二 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ ⑧ ⑩ ⑬ | 幼小中義高特専 |
| 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 | | | | | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |
| 3-1-20-16 誰もがわくわくする運動遊び ～たのしい縄跳び・遊びの教材づくり～ | | | | | 11月19日(木) 朝日村 農業者トレーニングセンター | | 画用紙や割り箸など身近な材料を使って、運動の動きの基礎につながる楽しい教材を紹介（いくつか作製）します。また、短縄や長縄、ダブルダッチなど、子供が夢中になる縄跳びの様々な跳び方を体験し、指導の工夫や楽しさを学べる貴重な講座です。 講義「縄跳びや運動遊びの楽しさと運動としての考え方」 実習「縄跳びや運動遊びの実際と遊びの教具づくり」 講師 塩尻市立広丘小学校 教諭 齊藤 博正 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ ⑧ ⑨ ⑭ | 幼小中義一特一 |
| 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 | | | | | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |
| 3-1-20-51 小学生のための体づくり運動 ～子どもの体力や身体能力の向上～ | | | | | 6月5日(金) 安曇野市 三郷文化公園体育館 | | 学校体育の中核的な領域である体づくり運動の意義や考え方と子どもたちの発達段階に合わせた実際の授業づくりや指導・評価方法を学ぶことができます。 講義「体づくり運動の学習指導の考え方」 実習「体づくり運動の実際と指導のポイント」 講師 信州大学 教授 渡辺 敏明 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | 基礎形成 | ⑦ ⑧ ⑨ ⑭ | 幼小中義一特一 |
| 基礎形成 伸長 充実 深化・貢献 | | | | | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |

| 総合教育センター研修講座 幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等対象講座 | | | | | | | | | |
|---|------------------|---------------------|-------|---|-----------------------------|------|---|----|----|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | 内容、連絡等 | | |
| 3-1-20-52 脳の発達と幼児期の運動支援 ～子どもの教育に必要なこと～ | | | | | 10月6日(火) | | 幼児期の子どもの脳の発達の理論から、子どもに必要な運動指導を学びます。幼児期の子どもの運動能力を高める多様な運動遊びを体験しながら、「跳躍力」「支持力」「懸垂力」などの幼児期の子どもの運動能力を高める指導法について学ぶことができます。 講義「今、子どもの教育に必要なこと」 実習「幼児期の子どもの運動能力を高める多様な運動遊び」 講師 松本短期大学 名誉教授 柳澤 秋孝 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | ⑭ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 | | | | | | | | | |
| 3-1-20-54 最新の体育・保健体育の授業づくり(小・中) ～体育・保健体育指導力向上研修の伝達～ | | | | | 7月10日(金) | | この講座は、小学校・中学校の各領域における授業づくりや評価などのポイントについて、全国研修会での伝達に基づいた最新の指導法や実践を学ぶことのできる講座です。領域は、小学校が【低学年の運動遊び・器械運動系・ボール運動系】、中学校が【陸上競技・水泳・武道(剣道)】を扱い、校種に分かれた研修になります。(本講座は「長野県小中学校体育実技指導者講習会」として受講する参加者もいます。) 講師 スポーツ庁主催 体育・保健体育指導力向上研修受講者 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | ⑭ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ |
| | | | | | | ○ | | ○ | |
| ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 | | | | | | | | | |
| 3-1-20-55 剣道段位認定(2日間) ～初段・式段の取得～ | | | | | 10月15日(木) ～ 10月16日(金) | | この講座は、2日間の講座と段位認定を目指す講座です。保健体育科教員や剣道指導者を対象に、技能を磨きながら段位取得(初段・式段)を目指す講座です。二人組の技や竹刀操作の実践力を高め、段位取得に挑戦できます。 講義「礼法・基本動作・基本的動作」 実習「礼法・稽古」「段位認定審査」 講師 長野県剣道連盟 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | ③ | ⑤ | ⑧ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ |
| | | | | | | | | | |
| ■段位審査料 約24,000円 ■剣道着、竹刀、つば付きの木刀、防具一式は持参してください。 ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 | | | | | | | | | |
| 3-2-01-22 人権教育Ⅱ ～地域の素材を生かした学びを考える～ | | | | | 10月16日(金) | | 長野市大豆島隣保館を会場に、講義や現地視察を通して、地域の素材を生かした人権教育のあり方について学びます。 講義「部落差別の解消に向けて」 現地視察研修(大豆島隣保館周辺) 体験学習「皮革加工の歴史を学ぶ」 講義・演習「地域の素材を生かした人権教育」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | ② | | ⑦ | ⑧ | ⑩ | ⑪ | ⑬ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ■体験費 300円程度 ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 | | | | | | | | | |
| 3-2-03-21 学校と社会がつながるキャリア教育 ～学習意欲の向上を目指す地域とのつながりの構築～ | | | | | 8月6日(木) | | 学習意欲の向上につながるキャリア教育の本質を考えます。 講義・演習「教室と社会がつながれば学習意欲は向上する」 講師 文部科学省初等中等教育局 教科調査官 東北福祉大学 教授 長田 徹 実践発表・演習「各校の取り組み事例から、地域素材を生かしたキャリア教育を考える」 実践発表表、教職教育部専門主事 講義「長野県のキャリア教育の現状とこれからのキャリア教育」 学びの改革支援課指導主事 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | ① | | ⑥ | ⑦ | ⑨ | ⑩ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ |
| | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ■持ち物 各校のキャリア教育全体計画 | | | | | | | | | |
| 3-2-04-22 学校組織マネジメントⅡ ～教育法規と学校運営～ | | | | | 12月4日(金) | | 教育法規の視点から、学校組織マネジメントのあり方について理解を深め、事例をもとに危機を未然に防ぐための危機管理について考えます。 講義・演習「2026 - 教育法規と学校運営 ～スクール・コンプライアンスの視点から～」 講師 淑徳大学 教授 坂田 仰 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | ③ | ④ | ⑤ | | | ⑩ | ⑪ | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ |
| | | | | | | | ○ | ○ | |
| ■持ち物 なし | | | | | | | | | |
| 3-2-04-23 学校組織が駆動する校務ICT活用のデザイン ～チーム学校を支える戦略とマネジメント～ | | | | | 7月3日(金) | | 学校づくりや組織づくりには、職員同士のつながりや対話が欠かせません。近年、校務ICTを活用しながら、情報共有の工夫を通して、学校全体の動き方を見直そうとする学校が増えています。本講座では、ICTを「どう使うか」だけでなく、学校の中でどう位置付け、組織として動かしていくかという視点から考えます。実践事例や対話を通し、自校に合う改善のヒントを探ってみませんか。 実践発表「校務ICTを学校組織に根づかせるマネジメント」 講義・演習「校務DXの最新動向と組織的浸透のポイント」 講師 文部科学省初等中等教育局 校務改善専門官 遠藤 雅典 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | ④ | | | | | ⑫ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ |
| | | | | | | | ○ | ○ | |
| ■持ち物 なし | | | | | | | | | |
| 3-2-05-21 学校ぐるみで取り組むカリキュラム・マネジメント | | | | | 6月26日(金) | | カリキュラム・マネジメントの理論や実践について、講義・演習を通して学びます。 情報交換「カリキュラム・マネジメントにかかわる各校の取組」 講義「カリキュラム・マネジメントの理論と方法」 演習「自校のカリキュラム・マネジメントの把握と改善」 情報交換「リフレクション～自校の取組に生かすために～」 | | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | ② | | ⑥ | | | ⑭ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ |
| | | | | | | | ○ | ○ | |
| ■持ち物 学校要覧又はランドデザイン4部 | | | | | | | | | |

| 総合教育センター研修講座 幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等対象講座 | | | | | | | | | |
|--|------------------|---------------------|-------|---|--------------------|------|------------|--|---|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | | 内容、連絡等 | |
| 3-6-03-26 特別支援教育の授業づくりVI ～一緒に楽しもう！障がいのある子の音楽～ | | | | | 9月4日(金) | | | 障がいのある児童生徒との音楽を生かした授業について、明日から使える引き出しを増やせる講座です。 実際に楽器に触れたり、音を奏でたりしてワークショップを楽しみながら、音楽を通して発達を促していく理論や支援方法を学びましょう。 講義・演習「障がいのある子との音楽」 講師 長野医療衛生専門学校 音楽療法士 高橋 和奈枝 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 | 小 | 中 | 義 | 高 |
| | | | | | | | | ○ | |
| 3-6-04-23 発達と行動を踏まえた支援 ～事例から学ぼう！応用行動分析～ | | | | | 7月2日(木) | | | 「行動問題」を「行動の原因を人の側に求めず、環境との相互作用の中に求める」応用行動分析の視点で捉え、周囲の対応を含め、支援の方法について学びます。子供たちの「できた！」を目指し、私たち自身の子供を見る目と支援を一緒に磨きましょう。 講義・演習「行動問題の捉え方と支援～応用行動分析の基礎～」 講師 群馬大学 教授 霜田 浩信 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | | | ⑩ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 | 小 | 中 | 義 | 高 |
| | | | | | | | | ○ | |
| 3-6-04-24 「自立」を育む特性に応じた支援 ～子供・保護者の困りを捉え 支援を考える～ | | | | | 11月17日(火) | | | 困りの背景にある認知特性を理解し、特性に応じた支援の工夫や、保護者理解に基づく支援、ライフステージを通じた見通しのある支援について、講義・演習を通して学びます。 講義・演習「『自律』を育む特性に応じた支援」 講師 相模女子大学 教授 日戸 由刈 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | | | ⑩ | | | ⑬ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 | 小 | 中 | 義 | 高 |
| | | | | | | | | ○ | ○ |
| 3-7-02-02 教育相談の理論と実践[学校心理学] | | | | | 8月25日(火) | | | 本講義では、教育相談の基礎となる理念や心理教育的援助サービスの理論、教育相談の歴史の変遷などの学校心理学の基礎的知識を学ぶとともに、児童生徒の心理的問題の根幹にあるストレスのメカニズムや非認知能力（自己肯定感、対人関係、やる気）の概念や教育について概説します。 信州大学 松本キャンパス 講師 信州大学 助教 横嶋 敬行 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | | | ⑩ | ⑪ | | ⑬ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 | 小 | 中 | 義 | 高 |
| | | | | | | | | | |
| 3-7-02-03 教育相談の理論と実践[教育相談] | | | | | 8月26日(水) | | | 本講義では、教育相談の実践における基礎となる児童生徒の問題に関する精神医学的な知見や、来談者中心療法、精神力動論、認知行動論などのカウンセリングの理論と技法について、学校現場での活用・応用を考慮しながら概説します。 信州大学 松本キャンパス 講師 信州大学 助教 横嶋 敬行 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | | | ⑩ | ⑪ | | ⑬ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 | 小 | 中 | 義 | 高 |
| | | | | | | | | | |
| 3-7-02-04 発達心理学概論[生涯発達] | | | | | 9月3日(木) | | | 本講座では、幼児期、児童期、青年期、成人期の各発達段階の特徴について学ぶとともに、児童期から青年期にかけての発達を考慮した非認知能力（自己肯定感、対人関係、やる気）の教育のポイントについて概説します。 信州大学 松本キャンパス 講師 信州大学 助教 横嶋 敬行 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | | | ⑩ | ⑪ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 | 小 | 中 | 義 | 高 |
| | | | | | | | | | |
| 3-7-02-05 発達心理学概論[発達心理学] | | | | | 9月4日(金) | | | 本講義では、知能・認知、感情・人格、言語、対人関係・社会性といった、各領域の基本的な発達について学びます。 ※学校教育の関連についても補足的に触れていくが、発達心理学の学術的基礎知識が講義内容の中心となります。 信州大学 松本キャンパス 講師 信州大学 助教 横嶋 敬行 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | | | ⑩ | ⑪ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 | 小 | 中 | 義 | 高 |
| | | | | | | | | | |
| 3-7-02-06 学校教育と情報 | | | | | 9月8日(火) 9月9日(水) | | | GIGAスクール構想の展開に合わせて、教育実践におけるICTの教育における活用を考察するとともに、演習を通じて教材研究や授業展開のあり方を学びます。 信州大学 松本キャンパス 講師 信州大学 教授 藤井 善章 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な課題への対応 | | |
| | | | ⑦ | ⑧ | | | ⑫ | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | | 幼 | 小 | 中 | 義 | 高 |
| | | | | | | | | | |

| 総合教育センター研修講座 幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等対象講座 | | | | | | | | | |
|--|------------------|---------------------|-------|---------|--|------|-------------|--|----------------------------|
| 講座番号・講座名 | | | | | 実施日 | | | 内容、連絡等 | |
| 3-7-02-07 教育課程の編成法 | | | | | 9月24日(木) ～ 9月25日(金) 信州大学 松本キャンパス | | | これまで提案されてきた教育理論を概観しながら教育課程の意義と役割を理解し、新しくなる学習指導要領の柱について理解します。また、事例を通して特色ある教育課程編成のあり方について考え、さらに、カリキュラム・マネジメントの考え方、評価観点等について学びます。 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | ④ | ⑥ | ⑨ | | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■集合場所等、詳細は別途ホームページにて連絡します。 |
| 3-8-01-21 学級経営と生徒指導の基礎・基本 ～学級経営と生徒指導の一体的充実を目指して～ | | | | | 7月7日(火) | | | 学級経営は、学校生活の基盤としてその重要性は広く認識されています。しかし、多岐にわたる営みの内容やそもそもの定義がはっきりせず、経験則や手探りで日々なんとなく実践しているということはないですか？学級経営にも基礎・基本があります。本研修では、学級経営とは何か、その意味と理論、方法について皆さんとじっくり考えます。また、学級経営の充実を図るため、生徒指導とどのように関連付け、実践すればよいか、その視点と手だてを学びます。 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | ④ | | ⑩ | ⑪ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 なし |
| 3-8-01-22 授業観察2.0が創り出す新しい校内研修の形 ～子どもの事実を起点とした対話による組織の構築～ | | | | | 8月5日(水) | | | 「子どもの姿から語る」を、建前からチームの熱量へ。形式的な検討会やどこか予定調和な対話に、物足りなさを感じていませんか？本研修で、授業ビデオから「一人の子の学びの事実」を深掘りします。教師の「評価」や教師への「助言」を越え、子どもの姿を多角的に語り合う体験は、同僚との距離を縮め、チームの連帯感を生み出します。「授業観察 2.0」で、学校の授業研究をワクワクする対話の場へ。 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | ③ | ④ | | ⑭ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 なし |
| 3-8-01-23 学習指導要領改定に向けた論点と道徳科授業 ～道徳科授業や授業づくりの実際を通して～ | | | | | 9月7日(月) | | | 道徳教育では、次期学習指導要領に向けて、「『考え、議論する道徳』の実装」のフェーズへの移行に向けた、質の向上の在り方の検討が求められています。演習を交えた道徳科授業や授業づくりの実際を通して、「主体的・対話的で深い学びの実装」や「多様性の包摂」を実感しましょう。 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 なし |
| 3-8-01-24 インクルーシブな授業を支える校内体制づくり ～個別の指導計画と授業をつなぐ理論と実践～ | | | | | 10月2日(金) | | | 教育的支援を要する児童生徒が主体的、協働的に学び力を育成するには、各教科等と自立活動を関連付けたカリキュラム展開が重要です。どのように実態把握をし、個別の指導計画を作成・活用すると子どもの学びが豊かになっていくのか、皆さんで考えていきましょう。 | |
| 地域社会と連携・協働 | 目標実現に向け、柔軟に対応する力 | 「教育のプロ」としての高度な知識や技能 | | | 学習指導 | 生徒指導 | 現代的な諸課題への対応 | | |
| | ④ | ⑥ | | ⑬ | | | | | |
| 基礎形成 | 伸長 | 充実 | 深化・貢献 | 幼小中義高特専 | 義初 | 高初 | 義キ | 高キ | ■持ち物 なし |

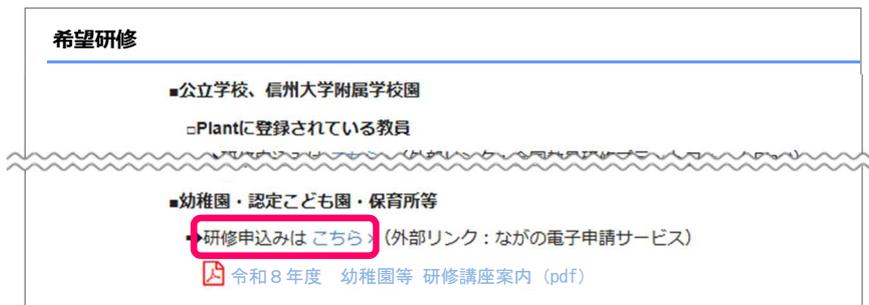
Ⅲ 受講申込みの手順

研修講座の申込みは、必ず管理職が行うようにしてください。

- ① 長野県総合教育センターHPにアクセスし、トップページにある「希望研修の情報・申込はこちらから」のバナー（右図）をクリックします。



- ② 幼稚園・認定こども園・保育所等にある「研修申込みはこちら」をクリックし、「ながの電子申請サービス」にアクセスします。



- ③ 利用者ログインの画面で、「利用者登録をせずに申し込む方はこちら」をクリックします。
※ 園代表メールアドレス等で利用者登録されている場合は、「既に利用者登録がお済の方」から、利用者IDとパスワードを入力してログインしてください。

- ④ 手続き説明の画面で、手続き説明や利用規約を確認後、「同意する」をクリックします。

- ⑤ 申込の画面で、園情報・送信者情報・受講希望者情報を入力し、「確認へ進む」をクリックします。
※ 1度で最大6件まで受講申込みすることができます（1人の受講申込みは3講座まで）。

園名を選択してください。 **必須**

上の選択肢にない場合は「999 その他」を選択し、こちらに園名を入力してください。

園代表メールアドレスを入力してください。 **必須**

メールアドレス

申請（送信）者の氏名を入力してください。 **必須**

氏： 名：

申請（送信）者の職名を選択してください。 **必須**

園長
 副園長

選択解除

園名を選択し、園の代表メールを入力します。

送信者の氏名・職名を入力します。

※ 次ページに続く

受講希望者の氏名01を入力してください。

氏 名

受講希望者の氏名のフリガナ01を入力してください。

氏 名

受講希望者の職名01を入力してください。

(例) 幼稚園教諭、保育教諭など

受講希望者のメールアドレス01を入力してください。

総合教育センターから研修講座に関する連絡事項があった場合、こちらのメールアドレスに連絡事項を通知します（研修講座終了後に適切に削除します）。

メールアドレス

研修種01を選択してください。

初任者園外研修

希望研修

受講希望の研修講座01を選択してください。

受講希望者の情報と受講希望の研修講座を入力します（最大6件まで）。

「確認へ進む」をクリックして「▲入力されたメールアドレスは登録済みです。」が表示された場合、この画面で入力した園代表メールは、利用者登録で使用されています。お手数ですが、ながの電子申請サービスにアクセスし直し、「既に利用者登録がお済の方」からログインして、もう一度入力等を行ってください。

⑥ 申込確認の画面で、申込内容を確認し、「申込む」をクリックします。

⑦ 申込完了の画面が表示されたら受講申込みが完了です。数秒後に、⑤で入力した園代表メールアドレスに「受付完了メール」が自動送信されます。

※ 受付完了メールが届かない場合は、入力したメールアドレスが間違っている可能性があります。お手数ですが、総合教育センター企画調査部にお問い合わせください。

■ 総合教育センターで申込データを受理したら、⑤で入力した園代表メールアドレスに「申込受理完了メール」を送信します。受講決定の通知ではありませんのでご注意ください。

IV 受講上の注意事項

(1) 研修講座の基本日程は、下の通りです。

| | |
|-------|---------------|
| 受付 | 9:10 ~ 9:35 |
| 午前の研修 | 9:40 ~ 12:00 |
| 昼食 | 12:00 ~ 13:00 |
| 午後の研修 | 13:00 ~ 16:10 |

(2) ゴミは持ち帰ってください。

(3) 冷暖房は、長野県が推進するエコマネジメント長野に基づく内規により運用しています。受講者もクールビズ、ウォームビズにご協力ください。特に、寒い時期には防寒対策を各自で行うようお願いします。

(4) 昼食について、

- ・ 当センターの食堂「温故」は営業していませんが、メインラウンジにて、不定期にお弁当等を販売している場合があります（数に限りがあります）。詳細は当センターのホームページを確認してください。
- ・ センター外から持ち込んだ弁当の容器やペットボトル等は、ゴミ袋等を持参し、必ず持ち帰ってください。メインラウンジで購入したお弁当の容器も同様をお願いします。

(5) 駐車場の利用について、植込みのある場所では、無理のない範囲で前向き駐車にご協力ください。混雑時は係員の指示に従ってください。

V 送迎について

(1) 送迎は、塩尻駅（東口）～長野道高速バス停留所（広丘野村）～総合教育センターの区間です。

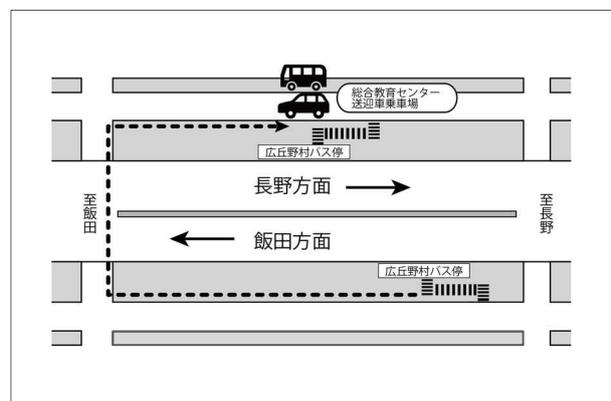
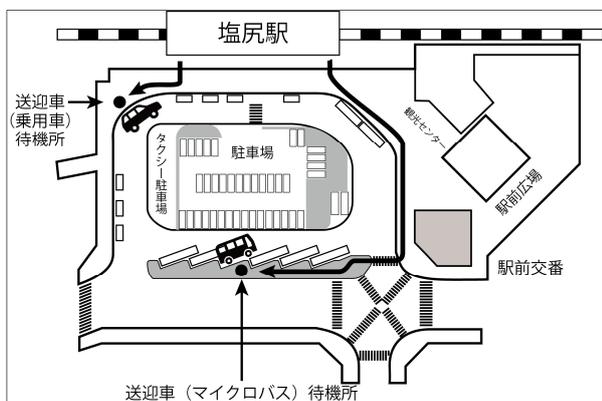
(2) **利用日の7日前までに**、当センターのホームページから電子申請で申し込んでください。期限を過ぎてからの申込みは、受け付けられない場合があります。また、申込期限までに**利用者がいない場合には、運行しません**ので注意してください。

※ 私立幼稚園・認定こども園の教員は、申し込む前に、総務部（0263 - 53 - 8800）にご連絡ください。

(3) 申込みを取り消す場合は、速やかに総務部（0263 - 53 - 8800）まで連絡してください。

(4) 送迎車の運行時間及び乗降場は次のとおりです。半日の講座で利用する場合はお問い合わせください。

| センター行き | | センターからの帰り | |
|---------------|-----------|---------------|-----------|
| 高速バス停留所（広丘野村） | 発 午前8時50分 | 総合教育センター | 発 午後4時20分 |
| 塩尻駅（東口） | 発 午前9時10分 | 高速バス停留所（広丘野村） | 着 午後4時30分 |
| 総合教育センター | 着 午前9時30分 | 塩尻駅（東口） | 着 午後4時45分 |



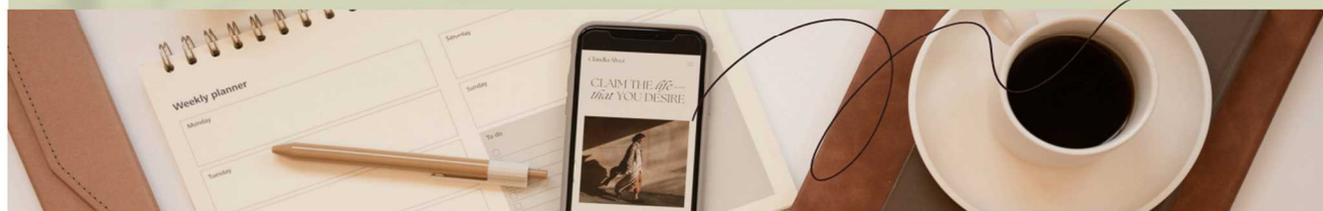
※利用者の人数によりマイクロバスではなく乗用車の場合もあります。

※JR塩尻駅の送迎車待機場所はマイクロバスの場合と乗用車の場合では異なりますので注意してください。

その先生ひとりの学びを 同僚みんなの学びへ



教職員研修会サポート



センター受講者がその講座で学んだことを手がかりに、校内研修を通して、職場の先生方同士、お互いの「授業観」や「子供観」を交流させる機会をつくりませんか。センター専門主事がそんな関係づくり、組織づくりにつながる校内研修運営をお手伝いします。



センターでの
学びをもとに
教育センター

「対話」をもとにしたセンター研修の一部を
受講した先生が同じように校内研修で実施する

センター主事のサポート内容

- ◆「対話」をベースにした校内研修会を一緒に構想
- ◆研修講座で使用したシートや資料をそのまま準備、活用
- ◆依頼時間に合わせたタイムテーブル(進行計画)の提案
- ◆当日は学校訪問しICTの活用フォローやファシリテート等のフォローにあたる
- ◆オンラインでの実施希望にも対応



校内研修で
同僚と対話
学校

どの講座でもサポートを受けることができます。
(一部サポートが難しい内容もありますのでご相談ください。)

教職員研修会サポート」申込方法 (※研修講座の受講前でも受講後でも申し込みいただけます)

- 1 日程調整……教頭先生から企画調査部へお電話いただき、日時等について調整。
- 2 申請書送付……申請書をHPからダウンロードいただき企画調査部へメールを送付。
- 3 研修会準備……担当主事と研修会の運営・内容を打合せ(センターから連絡がいきます)。
- 4 研修会当日……受講者が講師となり、研修会を実施(担当主事がサポートに入ります)。
- 5 研修会后……アンケートをHPからダウンロードいただき企画調査部へメールで送付。

【担当】総合教育センター 企画調査部

電話 0263-53-8802 電子メール sogokyoiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp

VI 研修を欠席、遅刻、早退する場合の申請について

欠席、遅刻、早退の申請は「ながの電子申請サービス」から管理職が行ってください。

■ 電子申請の前に、必ず電話連絡をしてください。

◇指定研修 0263-53-8804 (所属長 から 教職教育部長 あてに)

◇希望研修 0263-53-8802 (管理職 から 企画調査部 あてに)

「ながの電子申請サービス」による申請の方法

当センターのホームページにある「欠席・遅刻・早退の電子申請はこちらから」のバナー(右図)をクリックし、パスワードを入力すると、指定研修用URLリンクと希望研修用URLリンクが表示された画面が開きます。該当のリンクから「ながの電子申請サービス」の入力フォームに移動します。

(パスワードは電話連絡時にお伝えします。)

欠席・遅刻・早退の
電子申請はこちらから



「ながの電子申請サービス」のフォームに必要事項を入力し、送信してください。 ※右ページ参照

送信後、「PDF ファイルを出力する」をクリックすると、入力内容が反映された「欠席・遅刻・早退届」の様式〔様式第60号(指定研修)、様式第71号(希望研修)〕(下図)が生成されますので、所属校で保管してください。

〔様式第60号(指定研修) 学校保管用〕

| | | | | | | | | |
|---|-----|----------|--|------------|------------|------------|------------|---------|
| (様式第60号) | | 令和 年 月 日 | | | | | | |
| <table border="1"> <tr><td>初任者研修(年次)</td></tr> <tr><td>キャリアアップ研修Ⅰ</td></tr> <tr><td>キャリアアップ研修Ⅱ</td></tr> <tr><td>キャリアアップ研修Ⅲ</td></tr> <tr><td>校長・教頭研修</td></tr> </table> | | | | 初任者研修(年次) | キャリアアップ研修Ⅰ | キャリアアップ研修Ⅱ | キャリアアップ研修Ⅲ | 校長・教頭研修 |
| 初任者研修(年次) | | | | | | | | |
| キャリアアップ研修Ⅰ | | | | | | | | |
| キャリアアップ研修Ⅱ | | | | | | | | |
| キャリアアップ研修Ⅲ | | | | | | | | |
| 校長・教頭研修 | | | | | | | | |
| 指定研修講座 届 | | | | | | | | |
| 総合教育センター所長 様 | | | | | | | | |
| 学校コード番号 | | 学校・種別 | | | | | | |
| 校長・部長名 | | 専科番号 | | | | | | |
| このことについては、下記のとおりです。 | | | | | | | | |
| 記 | | | | | | | | |
| 受講者氏名 | 職 名 | 職員番号 | | | | | | |
| 講座番号 | 講座名 | 講座期間 | | | | | | |
| 欠席・遅刻・早退の理由 | | | | | | | | |
| 代替研修講座 | | | | | | | | |
| 講座番号 | 講座名 | 講座期間 | | | | | | |

〔様式第71号(希望研修) 学校保管用〕

| | | | |
|-------------------------------------|-----|----------|--|
| (様式第71号) | | 令和 年 月 日 | |
| 希望研修 | | | |
| 総合教育センター研修講座 届 | | | |
| 総合教育センター所長 様 | | | |
| 学校コード番号 | | 学校・種別 | |
| 校長・部長名 | | 専科番号 | |
| このことについては、下記のとおりです。 | | | |
| 記 | | | |
| 受講者氏名 | 職 名 | 職員番号 | |
| 講座番号 | 講座名 | 講座期間 | |
| 欠席・遅刻・早退の理由 | | | |
| ※ 代替受講者がある場合は、下の欄に代替受講者名等を入力してください。 | | | |
| なお、欠席等の代指として、次の職員が受講します。 | | | |
| 代替受講者氏名 | 職 名 | 職員番号 | |

欠席・遅刻・早退に係る電子申請の方法 ～ながの電子申請サービス～

すでに利用者登録がお済みの方

利用者登録せずに申し込む方

[利用者登録せずに申し込む方はこちら >](#)

[利用者登録される方はこちら](#)

既に利用者登録がお済みの方

利用者IDを入力してください

利用者登録時に使用したメールアドレス、
または各手続の担当部署から受領したIDをご入力ください。

利用者IDとパスワードを
入力して、ログインをクリック

パスワードを入力してください

利用者登録時に設定していたパスワード、
または各手続の担当部署から受領したパスワードをご入力ください。
忘れた場合、「パスワードを忘れた場合はこちら」より再設定してください。

メールアドレスを変更した場合は、ログイン後、利用者情報のメールアドレスを変更ください。

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

[ログイン >](#)

次ページへ

[同意する >](#)

次ページへ

[利用者登録せずに申し込む方はこちら >](#)

[利用者登録される方はこちら](#)

既に利用者登録がお済みの方

利用者IDを入力してください

利用者登録時に使用したメールアドレス、
または各手続の担当部署から受領したIDをご入力ください。

パスワードを入力してください

利用者登録時に設定していたパスワード、
または各手続の担当部署から受領したパスワードをご入力ください。
忘れた場合、「パスワードを忘れた場合はこちら」より再設定してください。

メールアドレスを変更した場合は、ログイン後、利用者情報のメールアドレスを変更ください。

[パスワードを忘れた場合はこちら](#)

[ログイン >](#)

次ページへ

[同意する >](#)

次ページへ

申請者を入力してください。 **必須**

この届けの申請を行う管理職の方の氏名を入力してください。

氏： 名：

連絡先メールアドレス **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先のメールアドレス（管理職と連絡がとれるメールアドレス）を入力してください。（半角入力）

メールアドレス

電話番号を入力してください。 **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先の電話番号（管理職と連絡がとれる電話番号）を市外局番から入力してください。（半角入力）

例) 0263-53-8800

電話番号

すでに申請者氏名、メールアドレス、電話番号は
入力されています。残りの項目を入力して下さい。

入力後

[確認へ進む >](#)

次ページへ

[申込み >](#)

申請者を入力してください。 **必須**

この届けの申請を行う管理職の方の氏名を入力してください。

氏： 名：

連絡先メールアドレス **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先のメールアドレス（管理職と連絡がとれるメールアドレス）を入力してください。（半角入力）

メールアドレス

電話番号を入力してください。 **必須**

この申請にかかわる問い合わせ先の電話番号（管理職と連絡がとれる電話番号）を市外局番から入力してください。（半角入力）

例) 0263-53-8800

電話番号

申請者氏名、メールアドレス、電話番号は入力され
ていません。これらの入力も含めて残りの項目を入力
して下さい。

入力後

[確認へ進む >](#)

次ページへ

[申込み >](#)

研修講座の基本日程

| | |
|-------|---------------|
| 受付 | 9:10 ~ 9:35 |
| 午前の研修 | 9:40 ~ 12:00 |
| 昼食 | 12:00 ~ 13:00 |
| 午後の研修 | 13:00 ~ 16:10 |

研修講座を欠席・遅刻・早退する場合のお願い

必ず、管理職を通じて申請をしてください。
緊急の場合も同様です。手続きについてはp.14を参照してください。
連絡先は次のとおりです。

指定研修 0263-53-8804 (教職教育部)

希望研修 0263-53-8802 (企画調査部)